



「健康日本21計画」と

“8020運動”

専務理事 坂井 剛

厚生省は21世紀に向けて「健康日本21計画」を策定し、生活習慣病の予防と国民の健康づくりに取り組もうとしている。その中で癌や脳卒中、心疾患、糖尿病等の生活習慣病と並んで、5つ目に歯周疾患の予防を中心とした歯科保健が入っている。今後、国はこの計画に基づいて各疾病予防の数値目標の設定と評価、高齢者や若年者の各ライフステージに合った対策を進めていく予定である。

これは愛知県が平成元年から推進してきた“8020運動”の考え方と重なるものであり、8020という数値目標に向かって「生涯を通じて歯の健康管理を行うことで生き生きと長寿を全うする」ことを目指す運動としてそのまま取り込みが可能である。本会としては来年4月から始まる介護保険への対応と同時に「健康日本21計画」に沿って、各医療圏、市町での8020運動を推進していく考えである。

一方、今、歯科界が命運をかけて進めている厚生科学研究「口腔と全身の健康についての研究」のテーマ1、「8020者のデータバンクの構築」テーマ2、「咬合状態に起因する他臓器の異常では丁度生活習慣病と口腔疾患との関連」が研究対象となっている。

- 1) 口腔疾患と肥満、糖尿病
- 2) 歯周疾患と骨粗鬆症
- 3) 口腔細菌と嚥下性肺炎
- 4) 歯科治療と高齢者のADL（日常生活動作）の改善
- 5) 摂食と脳の老化、等々。

今、本会では増え続ける歯科医院の経営安定の為に、需要拡大へ向けて懸命の努力をしているところである。そのコンセプトは“質の向上”であり“信頼される歯科医療”でなければならない。この時期に「健康日本21計画」が打ち出され、歯科保健が取り入れられた事は歯科界の将来にとって大きな光明です。勤務医の先生方はこの機会に大いに勉強し、幅広い医学知識を得て、誇りをもって臨床に当たられる事を心よりお願いいたします。